

1. クラスセレクト

同じタグの中で見栄えを区別したい場合、インラインスタイルシートで直接記述することが出来ました。しかしインラインスタイルシートでは記述が複雑、かつその見栄えが複数ある場合同じ指定が複数で必要になってしまいます。セレクトには class,id という任意の識別子をつけることが出来るので、それを用いると同一タグを区別し、異なる指定をすることが出来ます。クラスは文書中で何度も同じ名前を指定できますが、ID は文書中に一度だけ登場するものでなければなりません。

TAG. クラス名 {属性: 値}
TAG#id 名 {属性: 値}

呼び出し時

< TAG class=" クラス名" >
< TAG id=" id 名" >

class.html

```
<html><head><title> クラスセレクト </title>
<style type="text/css">
<!--
p{
color:blue;
font-size:36px
}
p.by {
color:green;
font-size:24px;
}
-->
</style>
</head>
<body>
<p style="color:red;font-size:20px"> おはようございます </p>
こんにちは <br>
<p class="bye"> さようなら </p>
<p> またあした </p>
</body></html>
```

2. タグと無関係にスタイルを指定

さらにこの class と id はタグとは関係なくそれ自身だけでセレクトとして使うことも出来ます。すなわちタグで構造定義を行うのとは別に、特定のエリアに名前をつけて識別させ、そこにスタイル指定をすることが出来ます。

. クラス名 {属性: 値}
#id 名 {属性: 値}

こうした使い方をしてもタグでエリアを指定する必要がありますが、一般的なタグには元々の表示効果があるので混乱します。そこでこうした用途に使われるのが、固有の表示効果のないタグ <div> ~ </div>、 ~ タグです。

<div> タグは囲まれたエリアに改行が入るので段落を指定するのに用います。

 タグは改行も入らないので 1 行の中の一部分を変える指定に用います。

呼び出し時

< div(span) class=" クラス名" > ~ </div(span)>
< div(span) id=" id 名" > ~ </div(span)>

divspan.html

```
<html>
<head>
<title> 表示効果のないタグ </title>
</head>
<body>
タグには何らかの表示効果があるが、スタイルを設定する場合それが煩わしく感じられるので、固有の表示効果のない span タグ・div タグを使用する。<br>
<span>span タグで </span> 囲んでも、何ら表示効果は現れない。
<div>div タグで囲むと改行だけが行われる。 </div>
これら二つのタグにスタイル属性でクラス名を指定する。
</body>
</html>
```

*span 部分にクラス名 sp,div 部分にクラス名 dv をつけ、それぞれを赤 24px, 緑 36px の指定にしてください。

class.html

```

<html>
<head><title> クラスセレクト </title>
<style type="text/css">
<!--
p{
color:red;
font-size:20px
}
p.by{
color:green;
font-size:24px;
}
.eve
{
color:blue;
font-size:36px;
}
-->
</style>
</head>
<body>
<p style="color:red;font-size:20px"> おはようございます </p>
<div class="eve"> こんにちは </div>
<p class="by"> さようなら </p>
<p> またあした </p>
</body>
</html>

```

3. 背景

CSS では背景や背景画像についても細かい制御をすることが出来ます。

ページ全体だけではなく、各要素に対しても背景に関連するプロパティでコントロールすることが出来ます。

• background-color: 色	背景色の設定
• background-image:url(パス)	背景画像
• background-attachment:scroll, fixed	背景画像のスクロール
• background-repeat:repeat, repeat-x, repeat-y, no-repeat	背景画像のリPEAT方法
• background-position:x y	背景画像の位置

bg.html

```

<html>
<head><title> スタイルシートによる背景の指定 </title>
<style type="text/css">
<!--
body{
background-color:#c0ffcc;
background-image:url(bg.gif);
background-repeat:repeat-y;
}
h1{
background-color:green;
background-image:url(bg.gif);
}
-->
</style>
</head>
<body>
<h1> スタイルシートによる背景 </h1>
</body>
</html>

```

background-repeat を repeat-x
no-repeat 等に変えてみましょう